

## スズキ、軽乗用車 新型「スペースシア」、「スペースシア カスタム」を発売



スペースシア HYBRID X



スペースシア カスタム HYBRID XSターボ

スズキ株式会社は、ハイトワゴンタイプの軽乗用車、新型「スペースシア」、「スペースシア カスタム」を11月22日より発売します。

新型「スペースシア」、「スペースシア カスタム」は、「わくわく満載！自由に使える安心・快適スペース」をコンセプトに、デザインや快適で居心地のよい室内空間、安全機能など、スペースシア本来の魅力をより進化させました。

デザインは、頑丈で大容量のコンテナをモチーフとし、「スペースシア」は、「心地よさ」と「ワクワク感」を、「スペースシア カスタム」は「上質感」と「華やかさ」を表現しました。

パッケージングは、広い室内をより使いやすく快適な空間へと進化させ、リヤシートにはマルチユースフラップ\*1をスズキで初めて採用しました。フラップの位置や角度を調整することで3つのモードを選べ、使用シーンやライフスタイルに合わせた利用が可能です。さらに、より使いやすく進化したパーソナルテーブル\*1や静粛性を高めたスリムサーキュレーター\*1を採用しました。

安全機能は、ミリ波レーダーと単眼カメラを組み合わせた衝突被害軽減ブレーキ「デュアルセンサーブレーキサポートⅡ」をスズキで初めて採用し、全車に標準装備しました。また、アダプティブクルーズコントロール(ACC)[全車速追従機能・停止保持機能付]\*2 や車線維持支援機能\*2 を採用し、安全機能が充実しました。

インパネ周りは、運転席や助手席からの動線や使いやすさを考慮したレイアウトとしたほか、助手席前のビッグオープントレーなど、多彩な収納スペースを設置しました。さらに、電動パーキングブレーキ\*2とステアリングヒーター\*3をスズキ軽自動車ですべて初めて採用しました。

走行性能は、R06D型エンジン(NA車)とマイルドハイブリッドを搭載し、軽ハイトワゴンクラストップの25.1km/Lの低燃費\*4を実現しました。また環状骨格構造や減衰接着剤などの採用により、高い操縦安定性や室内の高い静粛性、快適な乗り心地を実現しました。

「スペースシア」、「スペースシア カスタム」は、経済産業省や国土交通省などが普及を推進する「サポカーSワイド」\*5、国土交通省による「ペダル踏み間違い急発進抑制装置(PMPD)認定車」\*6に該当します。

### ●新型「スペースシア」、「スペースシア カスタム」の主な特長

1. スペースシアらしい「ワクワク感」はそのままに、さらに楽しさを感じられるデザインに進化
2. 広い室内空間をもっと活用するための工夫が満載、進化した後席快適性
3. 新しい衝突被害軽減ブレーキ、デュアルセンサーブレーキサポートⅡの搭載などで安心・安全な運転をサポート
4. 電動パーキングブレーキや新開発のメーターなど、高い利便性を実現した機能や装備を採用
5. 優れた燃費性能と走行性能、快適な乗り心地を実現

- ※1 スペーシア HYBRID X、スペーシア カスタム HYBRID XS、HYBRID XSターボに採用。  
 ※2 スペーシア HYBRID X セーフティプラスパッケージ装着車に採用。スペーシア カスタムは全車標準装備。  
 ※3 スペーシア カスタム HYBRID XS、HYBRID XSターボに採用。  
 ※4 軽ハイトワゴン＝全高 1,700mm以上のハイト型 2BOX軽自動車。WLTCモード走行燃費(国土交通省審査値)に基づく。スペーシア HYBRID G 2WD車(全方位モニター付メモリーナビゲーション・スズキコネクト対応通信機装着車は除く)。2023年11月現在、スズキ調べ。  
 ※5 衝突被害軽減ブレーキなどの先進安全技術をはじめとする一定の運転支援機能を備えた車(安全運転サポート車。略称・サポカー)のうち、ペダル踏み間違い時加速抑制装置などを搭載することで特に高齢運転者に推奨される「サポカーS」の区分のひとつです。「サポカーS ワイド」は、衝突被害軽減ブレーキ(対歩行者)、ペダル踏み間違い時加速抑制装置、車線逸脱警報、先進ライトを搭載する車です。  
 ※6 事故防止対策の一環として、ペダル踏み間違い急発進抑制装置が一定の性能を有していることを国土交通省に認定された車です。

\* 安全運転を支援する機能の検知性能・制御性能には限界があり、状況によっては正常に作動しない場合があります。これらの機能に頼った運転はせず、常に安全運転を心掛けてください。

## ●目標販売台数(月間)「スペーシア」、「スペーシア カスタム」 合計12,000台

### ●メーカー希望小売価格(消費税10%込み)

機種名	エンジン	駆動	変速機	燃料消費率 WLTCモード走行 (km/L)	燃料消費率 JC08モード走行 (km/L)	エコカー 減税 (重量税)	価格(円)
-----	------	----	-----	------------------------------	------------------------------	---------------------	-------

#### スペーシア

HYBRID G	0.66L DOHC 吸排気VVT (マイルドハイブリッド)	2WD	CVT	25.1 <sup>※7</sup>	30.4 <sup>※8</sup>	50%	1,530,100
		4WD		22.4	27.5	50%	1,656,600
2WD		23.9		28.2	50%	1,705,000	
4WD		22.4		27.5	50%	1,824,900	

#### スペーシア カスタム

HYBRID GS	0.66L DOHC 吸排気VVT (マイルドハイブリッド)	2WD	CVT	23.9	28.2	50%	1,801,800
		4WD		22.4	27.5	50%	1,925,000
2WD		23.9		28.2	50%	1,995,400	
4WD		22.4		27.5	50%	2,115,300	
HYBRID XS ターボ	0.66L DOHC 吸気VVTターボ (マイルドハイブリッド)	2WD	CVT	21.9	26.1	—	2,073,500
		4WD		19.8	24.7	—	2,193,400

\* 2WDは前輪駆動です。

\* 価格には、リサイクル料金、保険料、税金(除く消費税)、届出等に伴う費用は含まれません。

\* 環境対応車普及促進税制による自動車重量税の減税措置は2026年4月30日新車届出まで。記載の自動車重量税減税率は2025年4月30日新車届出までとなります。

\* WLTC=Worldwide-harmonized Light vehicles Test Cycle 市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モードです。

※7 全方位モニター付メモリーナビゲーション・スズキコネクト対応通信機装着車は23.9km/Lとなります。

※8 全方位モニター付メモリーナビゲーション・スズキコネクト対応通信機装着車は28.2km/Lとなります。

## ●メーカーオプション(消費税10%込み)

メーカーオプション名	設定機種	価格(円)
全方位モニター付メモリーナビゲーション・スズキコネクタ対応通信機 <sup>※9</sup> メモリーナビゲーション[9インチHDディスプレイ、フルセグTV・AM/FMラジオ・スマートフォン連携機能付、Bluetooth <sup>®</sup> 対応]、全方位モニター用カメラ[フロント/サイド(左右)/バックカメラ]、USBソケット、GPSアンテナ、TV用ガラスアンテナ、ハンズフリーマイク、メモリーナビゲーション専用オーディオガーニッシュ、SOSボタン、スズキコネクタ対応通信機	全車	195,800
セーフティプラスパッケージ 電動パーキングブレーキ、ブレーキホールド、アダプティブクルーズコントロール(ACC)[全車速追従機能・停止保持機能付]、車線維持支援機能	スペーシア HYBRID X	66,000
2トーンルーフ仕様車	スペーシア HYBRID X スペーシア カスタム HYBRID XS スペーシア カスタム HYBRID XSターボ	60,500
ピュアホワイトパール塗装車	全車	27,500
スチールシルバーメタリック塗装車	スペーシア カスタム	27,500
ピュアホワイトパール ブラック 2トーンルーフ仕様車 スチールシルバーメタリック ブラック 2トーンルーフ仕様車	スペーシア カスタム HYBRID XS スペーシア カスタム HYBRID XSターボ	88,000

\* Bluetoothは米国Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。

※9 サービスのご利用にあたっては、スズキコネクタにご加入いただく必要があります。詳しくはWEBサイト、または販売会社にお問い合わせください。

## ●新型「スペーシア」、「スペーシア カスタム」の主な特長

### 1. スペーシアらしい「ワクワク感」はそのままに、さらに楽しさを感じられるデザインに進化

#### エクステリア

- ・ 「もっと自由に」「もっと使いやすく」という想いから、頑丈で大容量のコンテナをモチーフとしました。
- ・ 頑丈なコンテナのプレス面を連想させるボディーサイドのビード形状や、工業製品に用いられる角を面取りしたような造形を取り入れたデザインとしました。
- ・ Dピラーとボディーを同色とすることで、コンテナのような大きさと丈夫さを表現しました。また、2トーンルーフ仕様車<sup>※10</sup>は、Dピラーのルーフとボディーカラーを繋ぐ部分にシルバーのアクセントカラーを施し、遊び心を演出しました。

#### <スペーシア>

- ・ ボディーを上下に分割する力強いキャラクターラインにより、頑丈で立体的な造形としました。
- ・ 親しみやすく優しい印象のLEDヘッドランプを採用しました。
- ・ 車体色は、春に咲く花のような柔らかみのある色を表現した「ミモザイエローパールメタリック」と、使い込んだ革製品のような深みのある色を表現した「トニーブラウンメタリック」を新色として設定しました。また、2トーンルーフ仕様車<sup>※10</sup>のルーフ色には「ソフトベージュ」を採用し、モトーン8色、ソフトベージュ2トーンルーフ4色の全12パターンを設定しました。
- ・ エンブレムは、タグプレートモチーフにしたデザインに一新しました。文字部分がくり抜かれていることで、車体色によって表情が変化します。

#### <スペーシア カスタム>

- ・ メッキと艶のあるブラックを組み合わせた大型のフロントグリルやメッキフロントバンパーガーニッシュ、メッキバックドアガーニッシュなどにより、上質感と存在感を表現したデザインとしました。
- ・ 内部をブラック化した薄型フルLEDヘッドランプとLEDフロントシーケンシャルターンランプ、クリスタル感のある肉厚インナーレンズのリヤコンビネーションランプを採用し、華やかな印象としました。
- ・ HYBRID XS、HYBRID XSターボには、スタイリッシュなデザインの15インチ切削アルミホイールを採用しました。
- ・ 車体色は、「ピュアホワイトパール」や「インディゴブルーメタリック 2」をはじめとした上質感のあるカラーを採用し、モトーン7色、ブラック2トーンルーフ<sup>※10</sup>4色の全11パターンを設定しました。
- ・ エンブレムは、文字部分にボルドーカラーを使用し、華やかで上質感のあるデザインとしました。

## インテリア

- ・ インパネや前席ドアのアップパー部分を立体的な造形とすることで、充実感や広さを演出しました。
- ・ カップホルダーやインパネボックス、前席ドアトリムにビード形状を施すことで、エクステリア同様頑丈で大容量のコンテナを表現しました。

### <スペーシア>

- ・ ブラウンを基調としたインテリアに、サイドルーバーガーニッシュやドアアップパー部分にマットな質感のカフェラテ色を配色し、居心地のよい室内空間を演出しました。
- ・ アウトドア家具のような心地よい雰囲気を持たせた、グレー基調のカラーメランジシート表皮を採用しました。

### <スペーシア カスタム>

- ・ ブラックを基調としながら、セミマットな質感のボルドーと光沢のあるピアノブラックの加飾が生み出すコントラストにより、上質で落ち着いた雰囲気を演出しました。
- ・ スエード調起毛で仕上げたシート表皮は、見る角度によってブラックの中にボルドーが煌めく華やかなデザインとしました。さらにHYBRID XS、HYBRID XSターボは、シートサイド部を艶のあるパイピングを施したレザー調とすることで、より上質感を高めました。

## 2. 広い室内空間をもっと活用するための工夫が満載、進化した後席快適性

- ・ プラットフォーム「HEARTECT(ハーテクト)」を採用し、スペーシアの特長である広い室内空間を実現しました。
- ・ 乗り降りのしやすいリヤステップ地上高(345mm)やスライドドア開口幅(600mm)、開口高(1,250mm)に加え、持ち手部分を拡大した乗降グリップにより、後席の乗降性を高めました。
- ・ リヤシートにマルチユースフラップ<sup>※1</sup>をスズキで初めて採用しました。フラップの位置や角度を調整することで、くつろぎ感を得られるオットマンモード、走行中の姿勢安定をサポートするレッグサポートモード、荷物の落下を予防する荷物ストッパーモードの3つのモードを選べ、快適な後席空間を演出します。
- ・ 左右独立した後席センターアームレスト<sup>※1</sup>を採用しました。マルチユースフラップと併せて使うことで、後席の快適性をさらに高めるとともに、座面に置いた荷物の横ずれ防止にも役立ちます。
- ・ スマートフォンやタブレットを立てかけることのできるストッパー、幼児用マグや500mlの紙パックにも対応したドリンクホルダー、テーブル格納時でも使用可能なショッピングフックを備えたパーソナルテーブル<sup>※1</sup>を採用しました。
- ・ 静粛性を高めたスリムサーキュレーター<sup>※1</sup>を採用しました。
- ・ USB電源ソケット[Type-A/Type-C]を後席右側にも採用<sup>※1</sup>しました。
- ・ 後席格納時の床面がフラットになり荷室高が拡大したことで、自転車などの大きな荷物がより積み込みやすくなりました。(※自転車の形状によっては積載できない場合があります。)
- ・ ビッグオープントレー(助手席)やオープントレー(運転席)、フロントドアアップパーポケット(両側)、シートバックアップパーポケット(運転席、助手席)<sup>※11</sup>など、多彩な収納スペースを設置しました。

## 3. 新しい衝突被害軽減ブレーキ、デュアルセンサーブレーキサポートⅡの搭載などで安心・安全な運転をサポート

- ・ ミリ波レーダーと単眼カメラの組み合わせにより、検知対象を車両や歩行者、自転車、自動二輪車とし、交差点での検知にも対応した衝突被害軽減ブレーキ「デュアルセンサーブレーキサポートⅡ」をスズキで初めて採用し、全車に標準装備しました。
- ・ フロントバンパーとリヤバンパーに内蔵した超音波センサーが前方・後方の障害物との距離を測り、衝突の可能性があると判断した場合に、衝突被害軽減ブレーキによる衝突の回避または被害軽減を図る「低速時ブレーキサポート(前進・後退)」を全車に標準装備しました。
- ・ 先行車の追従走行や定速走行に加え、カーブを認識しカーブ手前で自動で速度を抑制するカーブ速度抑制機能や、車線変更時の加減速を補助する機能、割り込みなどに対する接近警報機能などを搭載した、アダプティブクルーズコントロール(ACC)[全車速追従機能・停止保持機能付]<sup>※2</sup>を採用しました。
- ・ 車線中央付近の安定した走行をサポートし、区画線が見えにくい時は先行車の走行軌跡情報なども活用する、車線維持支援機能<sup>※2</sup>を採用しました。

- ・ 先行車の発進だけでなく、信号の切り替わりまでお知らせする発進お知らせ機能[先行車・信号切り替わり]や、ディスプレイ表示やブザー音での注意喚起を行う、標識認識機能を全車に標準装備しました。
- ・ フロントピラーを細径化することで前方視界が広がり、交差点右左折時の横断歩行者や交通状況がより把握しやすくなりました。

#### 4. 電動パーキングブレーキや新開発のメーターなど、高い利便性を実現した機能や装備を採用

- ・ インパネ周りの各種スイッチやUSB電源ソケット、収納スペースの配置をよりスムーズな操作が可能なレイアウトとすることで、前席空間の利便性を高めました。
- ・ パーキングブレーキの作動、解除の操作を指先で確実に行うことができる電動パーキングブレーキ<sup>※2</sup>をスズキ軽自動車ですべて初めて採用しました。さらにブレーキホールド<sup>※2</sup>を採用し、機能をONにした状態で停車時にブレーキペダルを踏み込めば、ブレーキペダルから足を離しても停車状態を維持します。
- ・ 冬の寒い日にも快適な運転をサポートするステアリングヒーター<sup>※3</sup>をスズキ軽自動車ですべて初めて採用しました。
- ・ スピードメーターをデジタル化するとともに、マルチインフォメーションディスプレイには 4.2 インチカラー TFT液晶を採用し、視認性を高めました。
- ・ 新開発のステアリングホイールを採用し、左側にマルチインフォメーションディスプレイ操作用の十字スイッチを搭載しました。ステアリングホイールから手を離さずにディスプレイ内の表示コンテンツの切り替えなど各種操作が可能です。
- ・ メーター表示による視覚での案内だけでなく、音声でも注意喚起を行うことで運転をサポートする音声案内機能を全車に標準装備しました。
- ・ ドライブレコーダー連動、HDMI入力対応、スズキコネク特連携機能を新たに搭載した、スマートフォン連携メモリーナビゲーションをメーカーオプションとして設定しました。
- ・ スズキコネク特は、スズキ緊急通報やスズキトラブルサポート、各種アプリサービスに加え、スズキコネク特加入者があらかじめ登録したご家族などと、スズキコネク特の機能をシェアすることができるシェア機能を新たに追加しました。また、メモリーナビゲーションとの連携により、警告灯の点灯や無償修理などの通知をナビ画面に表示したり、スズキトラブルサポートへの発信やコネクテッドサービスの一時停止/停止解除がナビ画面上で操作可能となりました。

#### 5. 優れた燃費性能と走行性能、快適な乗り心地を実現

- ・ 燃焼効率を高めたR06D型エンジン(NA車)と、軽量で高効率な新CVT、マイルドハイブリッドの組み合わせにより、軽ハイトワゴンクラストップの 25.1km/Lの低燃費<sup>※4</sup>を実現しました。
- ・ 環状骨格構造や構造用接着材の採用により、ボディー剛性や操縦安定性を高めました。
- ・ アンダーボディー接合面に減衰接着剤を採用したほか、遮音バツフルを左右計 8 か所に採用することで、室内の高い静粛性を実現しました。

※10 ソフトベージュ 2 トーンルーフ仕様車はスペーシア HYBRID Xに採用。

ブラック 2 トーンルーフ仕様車はスペーシア カスタム HYBRID XS、HYBRID XSターボに採用。

※11 スペーシア HYBRID Gを除く全車に採用。

以上